

目標：イエス様を信じるとイエス様が力を与えて下さるので、怒りを収めることもできるようになることを知る。

聖句：「御言にはあなたがたのたましいを救う力がある。そして、御言を行う人になりなさい。ヤコブ書1：21・22」

時間：10分

道具：ホワイトボード、ペン、

対象者：小6×1 小5×1 小3×3 小2×2 未就園児×4

留意点：子供たちは皆未受洗である。故に自分には関係がない話だと思われないう、怒りの言及(19)を慕うべき徳目と確認し、信仰者は恵みによりそれをできるのだと導きたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	皆さんは、親から、〇〇しなさいと言われたことはありませんか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある</li> <li>・ない</li> </ul>	御言葉を行う人になりなさいと言われるのは、できるからだということの伏線である。 無いはずはないが、必ず少数のはずなので、全体の雰囲気「ある」に傾けばよしとする。
課題探究	6分	なぜそういうのか考えたことはありますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある</li> <li>・ない</li> </ul>	有無だけを問う。こちらが提示する以外の理由が出た場合に、收拾をつけることが難しいからである。
		あなたにはそれをする力があるということです。力があるのなら、使わないのはもったいないでしょう。		他の考え方もあるので、それには含みを持たせる。
		聖書にこういう御言があります。聞くに早くあるとは、どういう意味でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・菊の御浸しを早く食べる</li> <li>・どんどん聞く</li> <li>・じっくり聞く。</li> </ul>	ヤコブ 1:19bを神などを用い提示する。 違うものはみな違うと分かるはずである。 いろいろな意味合いを嗅ぎ取ってくれていればよい。
		語るに遅くとは、どういう意味でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉数を少なくする</li> </ul>	単に言葉数を少なくする意味でないことを感じてもらえるとよい。
まとめ	2分	怒るに遅くとはどういう意味でしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく考えて話す。</li> <li>・怒らない</li> <li>・怒る前によく考える。</li> </ul>	最近言われるアンガーマネジメントに触れても良い。確信をもって述べたい。
		イエス様を信じると、こういう力を与えられるのです。こう言う人になりたいと思いませんか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思う。</li> </ul>	思わないという子は、何か問題がある。その発言の背後を推察する必要がある。
		イエス様を信じたら、できるようになります。私たちを変える力を福音は持っています。自分だけでなく、他の人にも伝えてほしいと思います。 暗誦聖句		185号テキストのテーマからの反映として、この信仰に立たせたい。